

第2回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和元年9月26日（木） 午後6時00分から午後7時10分

2 場 所 新井北小学校 図書室

3 出席者数 7名

○出席

相浦 秀樹（前PTA会長）

市川 朝子（民生委員）

市川 正兼（PTA会長）

砂山 幸夫（元和田地区協議会長）

藤田 由江（校長）

宮下 茂（和田コミュニティ運営協議会長）

矢崎 善治（前和田地区協議会長）

○欠席

太田 咲子（きたっこクラブ代表）

後藤 直行（和田地区子ども会育成会長）

酒井 文子（和田にじいろこども園長）

馬場 慎太郎（和田地区体育協会長）

宮下 茂樹（PTA副会長）

○事務局

浅野 一清（教頭） 湯浅 信子（教務主任・地域連携担当教員）

4 会 議 進行：会長

（1）出席の確認

・委員の半数以上の出席により会議を開く。

（2）前期学校評価の結果と今後の学校の取組について

- ・校長の藤田由江委員より、修学旅行や親善陸上大会での児童の態度、代表者の選手宣誓の姿のよさ等、学校の近況について説明があった。
- ・事務局の湯浅信子教諭より、前期の学校評価の結果と課題解決の取組について説明があった。

（3）2学期の主な行事予定と栗の実フェスティバルについて

- ・事務局の湯浅信子教諭より、説明があった。

（4）これまでの活動について

- ・砂山幸夫会長より、7月18日に行われた「令和元年度新潟県コミュニティ・スクール研修会」と8月27日に行われた「CS懇談会」の報告があった。

（5）意見交換

- ・会長より、「学校評価は母数や集団によって意味が変わってくる。数値

に惑わされることなく、児童一人一人をよく見ていくことが大切である」との意見があった。

- ・委員より、「CS 懇談会に参加して、学校職員の苦勞がよく分かった。学校運営協議会の委員も学校職員も毎年入れ替わる。CS 懇談会を毎年実施する価値がある」との感想があった。
- ・委員より、「CS 懇談会で出されたアイデアを実施することや実施のために何が必要か考えることが大切である」との感想があった。
- ・委員より、「CS 懇談会で話し合われたことを今後の活動に生かしたい」との感想があった。
- ・委員より、「子どもが小学校にいと学校だよりを通じてイベント等の情報が入るが、子どもが卒業してしまうとなかなか情報が入らない。学校運営協議会名で、回覧板等で地域にアピールできるとよい」との意見があった。

5 連絡

- ・第3回学校運営協議会は、2月25日（火）午後6時から午後7時まで行う予定である。